



介護事業所が事業成長の為に理解しておくべき
マーケティングの「基本プロセス」

2章：内部環境分析編（2-2：「事業性」と「福祉性」の理解）

PROFILE



株式会社ケアモンスター

代表取締役 田中 大悟

社会福祉士・介護支援専門員



職歴

1998年 医療法人 整形外科病院 MSW (名古屋市)
(22-28歳) 老人保健施設 支援相談員 (老健施設: 2施設の開設に関わる)
(28-30歳) 居宅介護支援事業所 管理者 兼 介護支援専門員

2006年 社会福祉法人 特別養護老人ホーム (石川県小松市)
(30-31歳) 経営企画室: 生活相談員 兼 介護支援専門員

2007年 医療法人 脳神経外科病院 (石川県金沢市)
(31-35歳) 地域連携室主任 MSW / 居宅介護支援事業所 介護支援専門員 兼務
地域連携室の立上 / 退院支援・退院調整 / 病診連・病病連窓口 (紹介状管理・データ化)
回復期病棟立上げ / 病院機能評価対応 /
ベッドコントロール (医師の入退院の予定と実績のデータ化) / 医療経営を学ぶ

2011年 医療法人 小規模診療所 理事 / MS法人 取締役 (石川県小松市)
(35-38歳)
小規模診療所を中心とした地域包括ケアシステムの構築をテーマに下記介護事業の開設・運営を行う
住宅型有料老人ホーム: 3事業 / 訪問介護: 1事業 / 居宅介護支援事業: 1事業
通所リハビリ: 1事業 / 訪問看護: 1事業 / 訪問リハビリ: 1事業 / 通所介護: 7事業
認知症共同生活介護: 1事業

2014年 合同会社 JAPAN UNITED HOME CARE 設立
(38歳~) たなかだいご介護・福祉相談室 開設 (独立型社会福祉士事務所)
居宅介護支援事業所の運営・コンサル事業・セミナー事業

2018年11月 株式会社ケアモンスター 代表取締役 (社名変更)
今の福祉事業の概念を壊しながら、「新しい価値」と「新しい仕組み」を創造する！！

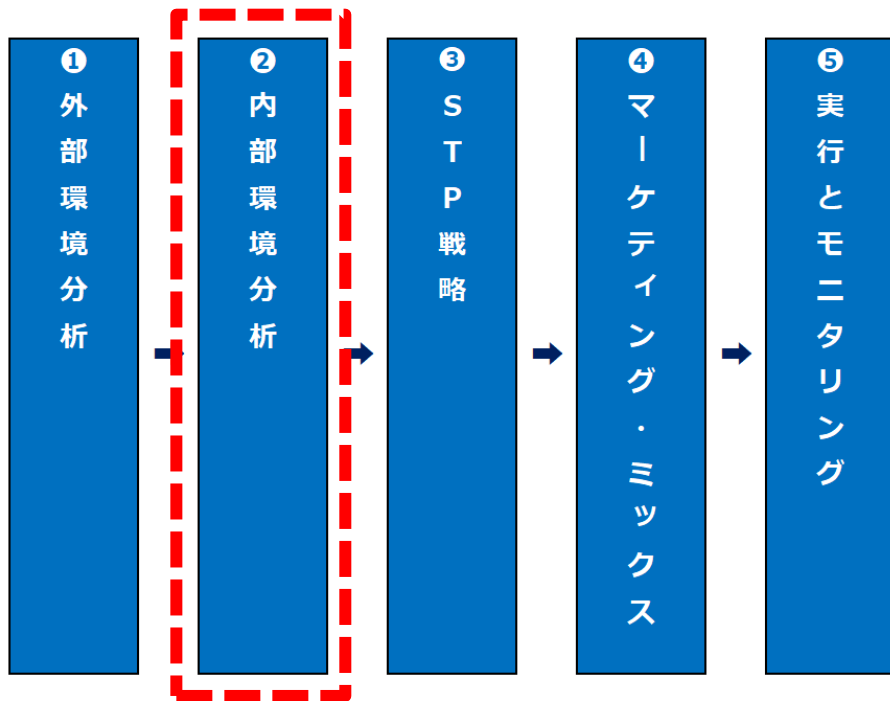
2012年09月 (石川県) 加賀脳卒中地域連携協議会 理事

2013年12月 日本介護福祉経営人材教育協会 北信越支部 理事

2017年03月 日本デイサービス協会 監事

著書2017年1月 介護施設での生活相談員の仕事 (ナツメ社)

2章：内部環境分析編の研修内容の項目



2章：内部環境分析

【研修内容目次】

2-1：あるべき姿の「重要性」と「設定」

2-2：「事業性」と「福祉性」の理解

2-3：組織の成長過程の理解

2-4：キャリアパスの設定

2-5：業務内容と業務手順の設定と可視化

2-6：組織の成長過程に必要な教育・研修の仕組み

2-7：事業計画の理解

目次

| | |
|--|----|
| 目次：..... | 04 |
| はじめに..... | 05 |
| 1：「事業性」と「福祉性」の両輪の“軸”として押さえておくべき視点..... | 06 |
| 2：「事業性」と「福祉性」の業務ウエイトの移り変わり..... | 07 |
| 3：「事業性」と「福祉性」と事業の本質の理解..... | 08 |
| おわりに..... | 11 |

2章：内部環境分析編（2-2：「事業性」と「福祉性」の理解）

はじめに

事業の「事業性」と「福祉性」とは？

「事業性」：営利を目的として営む経済活動。

「福祉性」：営利を目的としない、利用者の生活課題の改善等、福祉の増進を図ることを目的とした活動。



多くのご利用者に喜んでいただけるサービスを提供し続けるには、
「事業性」と「福祉性」 両輪の“軸”をしっかり作ることが事業運営上とても重要になります。

※日本は、福祉教育をしてきましたが、その中に「事業性」に関するカリキュラムがありませんでした

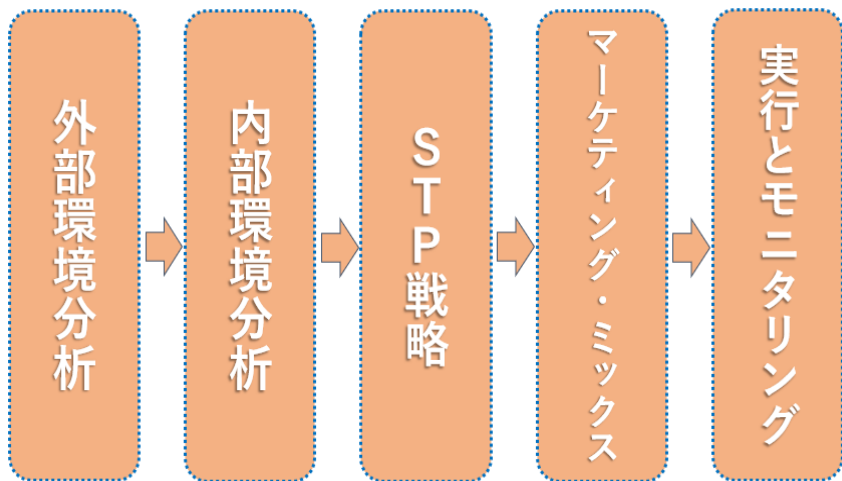
2章：内部環境分析編（2-2：「事業性」と「福祉性」の理解）

1：「事業性」と「福祉性」の両輪の“軸”として押さえておくべき視点

【事業性の理解】
マーケティングの基本プロセスの理解



【福祉性の理解】
介護過程の展開の理解



- ①情報収集 情報を集める作業
* コミュニケーション力が必要とされる
- ②原因・状態の把握 ... 集められた情報から原因・状態を明らかにする
* 看護・介護等の知識が必要とされる
- ③問題と課題の抽出 ... 具体的な問題を浮き彫りにし、課題を抽出する
* アセスメント力が必要とされる
- ④意欲への転換 ... 問題を改善意欲に転換する働きかけを行う
* マインドマネジメント力が必要とされる(ラポールの形成)
- ⑤介護目標の決定 ... 長期・短期の目標を援助者と共に設定する
* 決して作成者の独善に陥らない!
- ⑥介護計画の立案 ... 具体的な介護計画の設定
* 多角的な視点が必要とされる(他職種共同)
- ⑦計画の実行 目標に向けて計画の実行
* チームアプローチが必要とされる
- ⑧結果と評価 結果の確認と評価

2章：内部環境分析編（2-2：「事業性」と「福祉性」の理解）

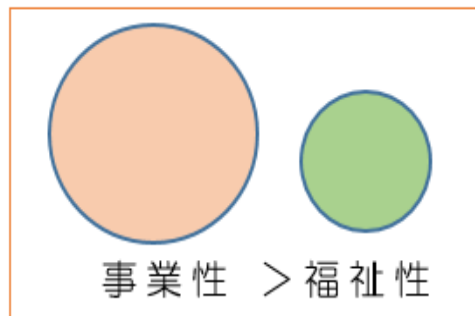
2：「事業性」と「福祉性」の業務ウエイトの移り変わり

※注1：運営が「事業性」に大きく傾くと「職員離れ」に注意を要します。

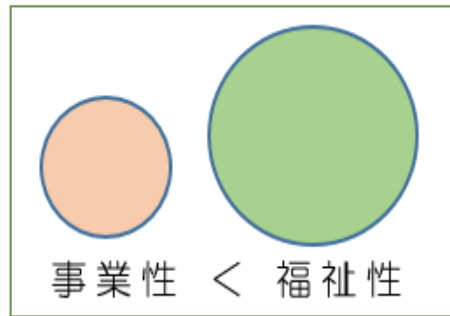
※注2：運営が「福祉性」に大きく傾くと「赤字経営」に注意を要します。

Q：成長段階での、ウエイト付けはどの順で移り変わる・・・？

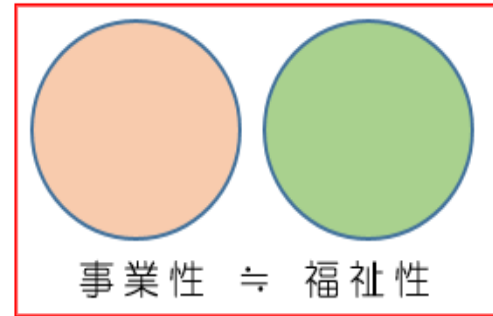
①



②



③



2章：内部環境分析編（2-2：「事業性」と「福祉性」の理解）

3：「事業性」と「福祉性」と事業の本質の理解

業界以外の例えで考えてみる。



Q1：メガネを必要とする顧客は、何を欲していると考えますか？

- ・デザイン・・・？
- ・強さ　　・・・？
- ・軽さ　　・・・？

本質的なニーズは、

「ストレスなく物が見えるようになること」で、

この本質的なニーズを見誤らないことが大切な視点！！



2章：内部環境分析編（2-2：「事業性」と「福祉性」の理解）

3：「事業性」と「福祉性」と事業の本質の理解



Q2: 大切な人が、若しくは、貴方自身が介護を必要とする状態になった時どうしてほしい、また、どうなりたいですか？

- ・きれいな施設で介護を受けてほしい・・・？
- ・優しい人に介護されてほしい・・・？
- ・ロボットに介護されてほしい・・・？
- ・さて、どうしてほしいですか・・・？



本質的なニーズは、
「**介護を受けることなく生活できるようになる**」
ことではないでしょうか・・・？

2章：内部環境分析編（2-2：「事業性」と「福祉性」の理解）

3：「事業性」と「福祉性」と事業の本質の理解



Q3:職員は、貴事業所で働き、夢の自己実現に近づけていますか？（職員はどのような「価値」を感じていますか？）

- ・何を「やりたい！」と思っているか・・・？
- ・何を「学びたい！」と思っているか・・・？
- ・どんな「ライフプラン」を描いているか・・・？
- ・どんな「事業ビジョン」を描いているか・・・？

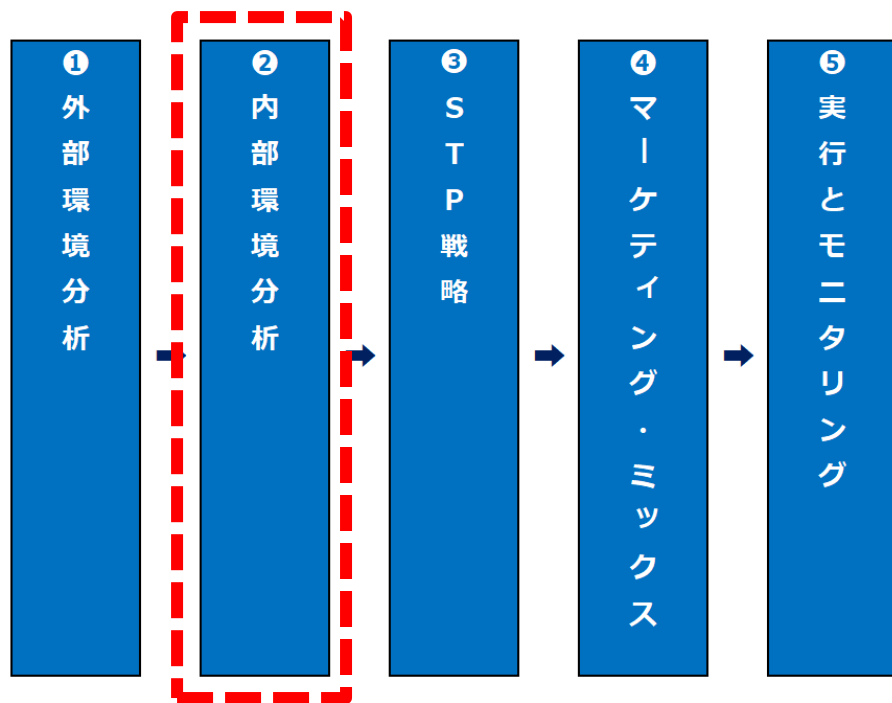


職員の本質的なニーズに、

真摯に対応できているだろうか・・・？

2章：内部環境分析編（2-2：「事業性」と「福祉性」の理解）

おわりに



2章：内部環境分析

【研修内容目次】

2-1：あるべき姿の「重要性」と「設定」

2-2：「事業性」と「福祉性」の理解

2-3：組織の成長過程の理解

2-4：キャリアパスの設定

2-5：業務内容と業務手順の設定と可視化

2-6：組織の成長過程に必要な教育・研修の仕組み

2-7：事業計画の理解

2章：内部環境分析編（2-2：「事業性」と「福祉性」の理解）

おわりに

下記のプロセス毎に、研修動画をご用意しております。

- 1：外部環境分析編
- 2：内部環境分析編
- 3：STP戦略編
- 4：マーケティング・ミックス編
- 5：実行とモニタリング編

ご視聴ありがとうございました